

# 介護ロボット導入及び運用研修

本当に聞きたかった介護ロボットの話～導入前のプロセスから効果的な運用のコツまで

人材不足が恒常的な課題である介護現場において、職員の生産性を高めることは極めて重要な取り組みです。そして、厚生労働省のみならず経済産業省も介護ロボットの普及推進に注力しているところです。

介護ロボットの導入には助成金や補助金も出るため、導入する施設が多くなってきていますが、「利用者の生活を支え」かつ「職員の生産性を高める」ような導入及び運営に至っていないところが多いのではないのでしょうか？

介護ロボットの効果的及び効率的な運用に至らないのは、介護ロボットの導入及び運用のノウハウがないのが原因です。介護ロボットの導入に先駆的に取り組んできた専門家をお招きし、そのノウハウを余すことなくお伝えしていきます。ぜひ、ご参加ください！

## プロローグ 介護ロボットとの出会い

- (1) 介護ロボットはどんな存在なのか
  - (2) 介護はAI(人工知能)の影響を最も受ける業種
  - (3) 実証実験から見てきた介護ロボットの本質
    - ・ 万能な介護ロボットは存在しない
    - ・ 他の施設で評価が高い介護ロボットを入れて失敗するのはなぜか
    - ・ 介護ロボットデビューの施設に適した機器は何か
    - ・ 導入よりも運用がはるかに難しい～上手に運用するために必要なこと～
    - ・ 介護ロボットメーカーに伝えたいこと
- エピローグ 介護ロボットを活用する目的を考える

## 講師からのメッセージ

各種専門家による介護ロボット講演でピンとこなかった方に絶対に聴講していただきたいと思います。受講した帰路にて、介護ロボットを有効に活用することは特別な新しいことを始めるのではなく、介護保険制度の理念に沿ったサービス提供をすることに他ならないことに気付くはずですよ。

講師 田久保秀樹先生 特別養護老人ホーム新鶴見ホーム課長補佐

横浜市立大学卒。1995年財団法人横浜市ホームヘルプ協会(現:社会福祉法人横浜市福祉サービス協会)入職。情報システム部門を経て、現職。介護・生活支援ロボット活用研究会副委員長。スマート介護士(Expert)。全国に先駆けて施設内で常設の「ICT委員会」を立ち上げ、最新の介護ロボット・ICT機器の勉強会を開催。多数の介護ロボットの実証実験を行い、ロボットメーカーへフィードバックを行う。海外を含めたメディア取材・視察も多数受ける。ニュートラルな視点に立つ「目からウロコが落ちる」講演内容に定評がある。介護ロボットの研修の講師の実績多数。

日程 2020年1月23日 9:30～16:30  
受講料 11,000円 **ネット配信の加入者は半額で受講できます！**  
会場 お茶の水ケアサービス学院 東京都千代田区岩本町1-10-3 神田駅徒歩10分  
対象 どなたでも参加可能です。  
申込方法 ファックスでのお申込になります。受付後確認のファックスを致します。  
支払方法 受講案内を送付致しますので、受講案内が届いた後お振込み願います。  
問合せ先 お茶の水ケアサービス学院 TEL 03-3863-4000

**ファックス 03-3863-4006**

お名前	フリガナ	事業所名	ネット配信 加入の有無	有・無
住所	(〒 - )	(事業所・自宅)		
TEL		FAX	e-mail	

※お申込後(申込日を1日目とします)、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額のキャンセル料がかかります。また、申込日にかかわらず1/9以降のキャンセルについては、受講料の全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。